ダイソー

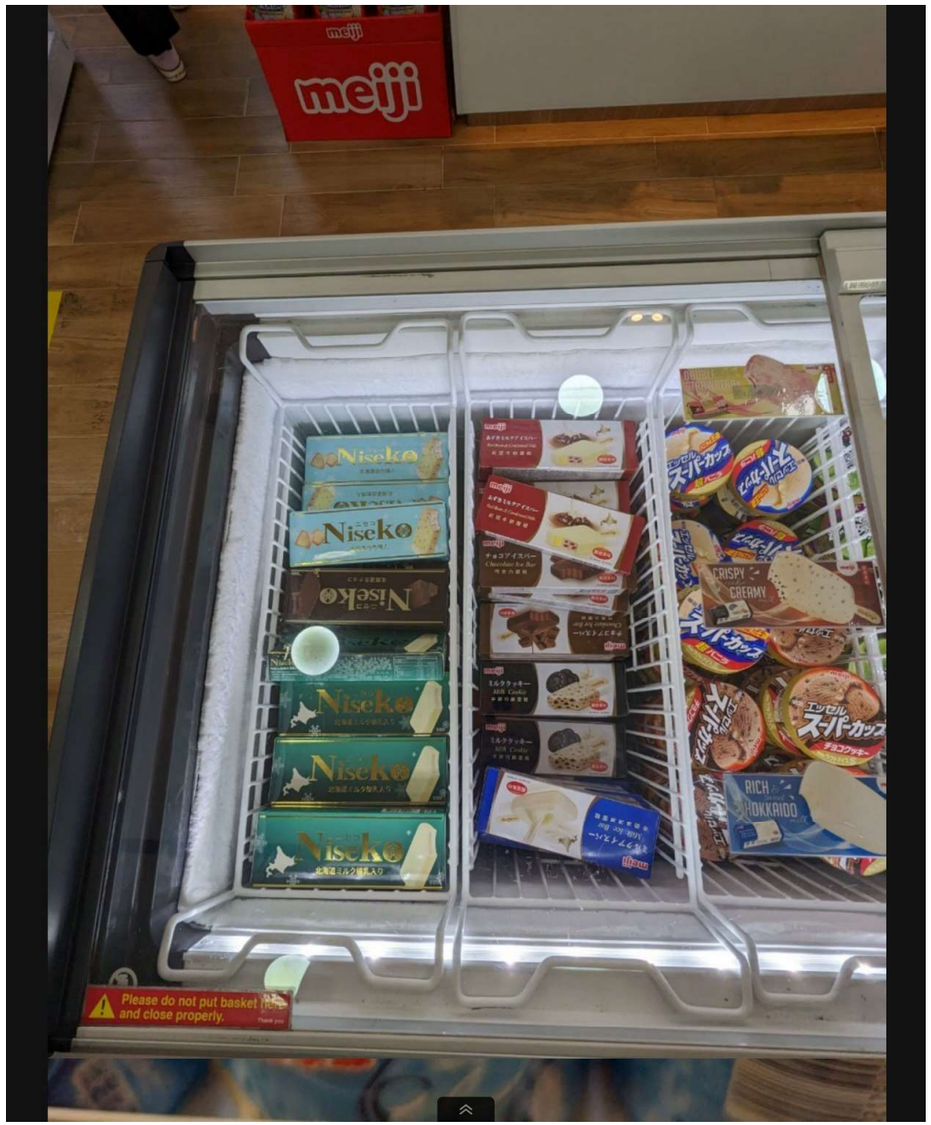
商品のラインナップ

日本

•基本的に何でもそろっている
•ダイソーオリジナルではない商品も一定数あった
→食品等
•100円以外の商品もあった
•ディズニーやサンリオキャラとのコラボが多かった

シンガポール

•日本で売られている商品が基本
•日本であまり見ないような他社の食品製品があった
•＄2.16以外の商品もあった
•観葉植物などは売られていなかった



日本では見ない商品の例

日本でのディズニーコラボ商品

価格

•シンガポールのダイソーは日本からの商品をそのまま売っている
→値段表記は円で、対応表を使って価格を表示している
•シンガポールでは値段は日本の約二倍程度

内装　外装

日本

•天井は高く、上から案内がぶら下がっていた
•棚は僕の身長程度
•棚があって、そこに商品を陳列する方式
•店内はかなり広かった

シンガポール

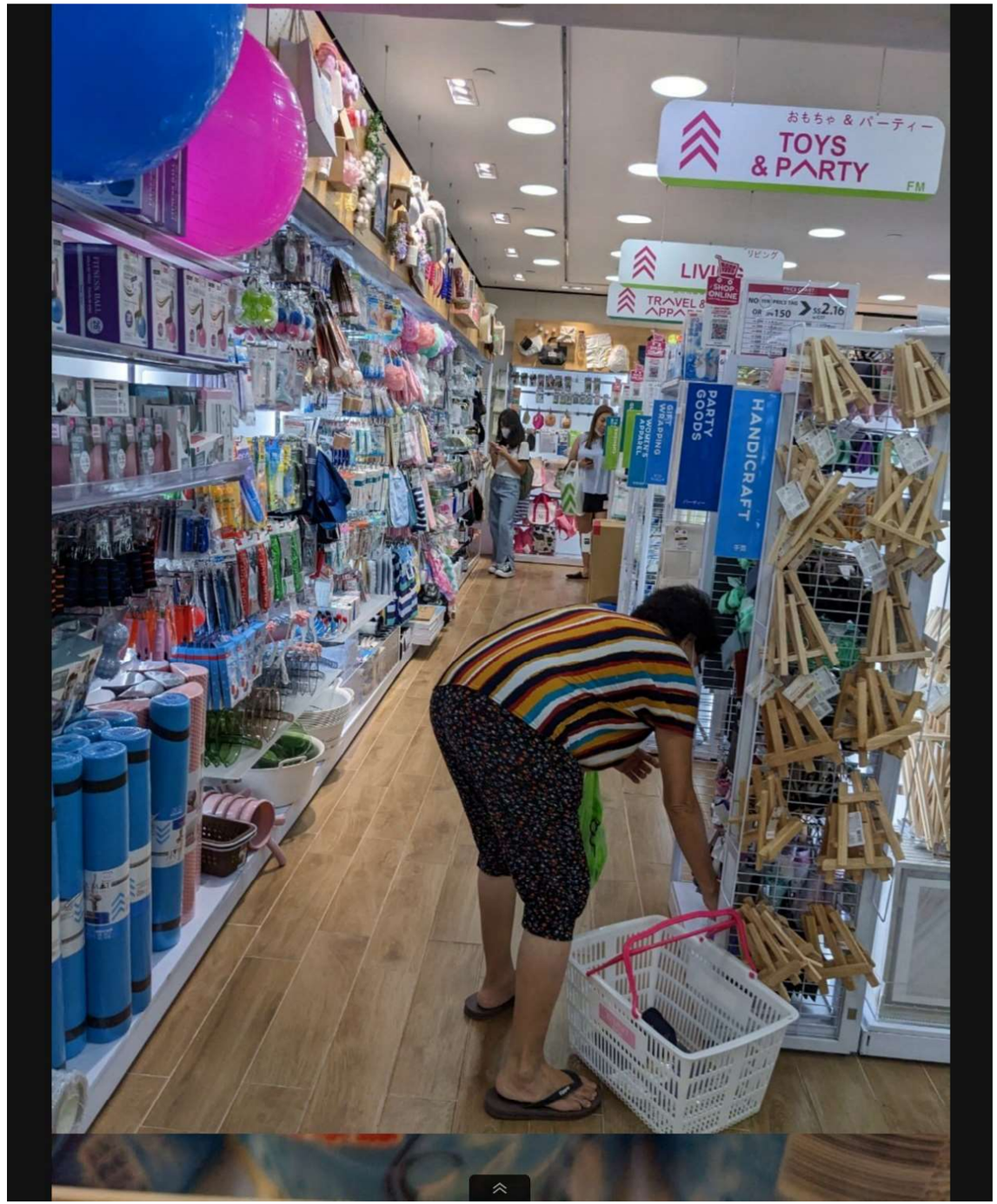
•天井は日本よりもかなり低かった
•棚は僕の身長程度
•商品陳列は、棚に引っ掛ける方式が多かった
•店内は日本の僕が行ったダイソーよりは狭かった
•防犯カメラの映像や、監視中の表示などがあった

日本のダイソーの入り口

シンガポールのダイソーの入り口

日本の陳列棚

シンガポールの陳列棚


おもちゃ & パーティー
TOYS
& PARTY
FM
HANDICRAFT
PARTY GOODS
GIFT WRAPPING

シンガポールの店内の防犯カメラ映像

その他気が付いた点

•シンガポールの飲料には砂糖やトランス脂肪酸の含有率を示した表示がある
→Nutri-Grade
•ダイソーはシンガポール中にかなりの数がある
•日本よりも日本食等のラインナップが多かった

Nutri-Gradeのシール

シンガポールのダイソー分布図

考察

•シンガポールのダイソーには、日本の文化を発信するような役目もあるのではないか
→日本のダイソーには売られていないが、日本の文化（主に食文化）が如実に現れた食品を売っていた
•日本のパッケージをそのまま使い、対応表を使って値段を表示することでコストダウンを図っているのではないか